



国際認証の取得を目指して

WHO世界基準の安心・安全なまちづくり

セーフコミュニティだより

第17号

子どもや高齢者の視点から安全点検

市では、安心・安全なまちづくりを推進するため、セーフコミュニティおよびセーフスクールの国際認証取得事業を行っています。その一環として、9月6日(土)、花の木小学校、南小学校周辺で、交通事故や犯罪等の危険箇所を確認する安全点検を行いました。



歩きながら点検

今回は、明治大学理工学部(山本俊哉教授)や科学警察研究所のご協力をいただき、児童や保護者、教職員、セーフコミュニティ対策委員会のメンバーら多くの市民が参加しました。

参加者は、徒歩のほか自転車や車いすの班に分かれて、まちなかを巡って、それぞれの視点で危険箇所を点検しました。デジタルカメラ、録音機、GPS受信機を使うことで簡単に危険箇所を記録し、そのデータを利

用して、地域安全マップを作成

しました。参加者からは、危険箇所や注意箇所を簡単に視覚化することができた。車いす用のスロープが設置されていても幅が狭くて転回することができない。様々な年代の方とつしよに行つたので、お互いの意見を聞けて有意義だった。

など多くの意見や感想が出されました。

さまざまな立場から、実際にまちを歩いて点検することで、普段は何気なく見過ごしている危険に気がつくことができました。また、マップ化することで、情報を共有することの大切さを学ぶ機会にもなりました。今後は、作成した地域安全マップを活用して、事故防止に役立てていきたいと考えています。

危険機管理課 ☎22-2206



検討会の様子



「和を以って 貴しと為す」

一歩一歩前へ前へ 着実に

市長 久喜 邦康

去る9月27日、長野・岐阜の県境にある御嶽山が噴火し、大きな被害をもたらしました。亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い、復旧・復興を心から願っております。

昨今、全国的に台風や豪雨、豪雪などがもたらす災害が頻繁に起こっています。私は自然災害から市民を守り抜くためには、一極集中された防災拠点としての市役所本庁舎と避難所となる市民会館が必要であると改めて感じています。市役所本庁舎と市民会館は災

害に強く、まさに市民を守る「あんしん」のための施設として秩父市の50年・100年を見据えたものにしたと思います。

しかし、5月の入札は不落となり、その検証では実勢価格が急激に上昇したことに因るものでした。その後、財源手立てを調査し、検討してまいりました。その結果、合併特例債と新たな補助事業を活用することで、事業費は増額となるものの市民負担は軽減されることが見込めるようになりました。合併特例債は、その約70%が国から財政支援されます。合併にご尽力いただきました皆様に、ここに改めて、感謝申し上げます。

建設物価は「今後も高止まり」とされますが、昨年から急激な上昇は鈍化するものと予想され、来年には消費増税も予定されています。また、資格条件の緩和や工期の延長などにより一層競争原理の働く入札方法を検討しました。これらのことを総合的に判断し、今が再入札の時期と判断しました。



市長 久喜邦康

お気軽にお越しください！ ふらっと市長室

●11月26日(水)
9:00~10:00 大滝総合支所
11:00~11:30 伝承館1階

●12月19日(金)
9:00~10:00 荒川総合支所
11:00~11:30 伝承館1階

※日程は変更される場合がありますのでご注意ください。

☎秘書広報課 ☎22-2505